２０１５年度　公益社団法人乙訓青年会議所　委員長方針

青少年育成委員会　委員長　渡辺　大樹

私達の少年時代は、子どもと真剣に向き合い正しい方向に導いてくれる大人が地域にいて、子どもながらに善悪の判断を身に付ける事が出来ました。いつの時代も子どもは大人の背中を見て育つものであり、そう言った大人との関わりの中で、夢や志を持ち続ける大人の姿に憧れたものでした。しかし、地域コミュニティの希薄化等で子ども達と向き合いコミュニケーションを図る機会が少なくなったと感じます。その結果、道徳心や強い志を持ち続ける事の大切さを伝える機会が減少しているのではないでしょうか。このような現代社会で、子ども達と対面コミュニケーションを図りながら、人とひととの繋がりから生まれる道徳心や強い志を伝える事が必要不可欠だと考えます。

乙訓青年会議所の先輩諸兄は、未来を担う乙訓（まち）の宝である子ども達が、元気で明るく育って欲しいと願い、青少年の健全育成にご尽力されて来ました。その想いを引き継ぎ、「地域と共に夢と誇りを育む乙訓（まち）の創造」に向け、今一度私達が地域の大人として、子ども達と真剣に向き合い、良い事、悪い事をしっかり伝えて行く必要があります。そして、地域の大人として責任を自覚し、背中を見られている事を意識して行動をしなければなりません。そして子ども達と積極的にコミュニケーションを図り様々な経験を得て子ども達も私達自身も、豊かな心を併せ持つ人財に成長出来れば、「明るい豊かな社会」の実現に繋がると考えます。

本年度、青少年育成委員会では、未来を担う乙訓（まち）の宝である子ども達が、集団行動を通じ、コミュニケーションを図る中で和の心や利他の精神を養って頂ける様に、各委員会に協力して頂き、４月から１２月にかけて文化少年団を運営致します。ケイジャーズカップでは、実行委員会と協働して、選手が挫折や失敗を乗り越え、目標に向かって熱闘を繰り広げられる大会運営を行います。６月例会では、大人が道徳心を持って子ども達との関わり方を見つめ直す機会として地域の方々と共に学ぶオープン例会を開催します。第１２回を迎える乙訓ふるさとふれあい駅伝では実施主体である実行委員会と連携して、子ども達が安全で安心して、競技に集中出来、地域コミュニティを実感出来る事業となる様に協働します。そして我々の運動、活動に対し多くの方に賛同を得て、一人でも多くの同志を迎える為に、魅力伝播委員会と連携して会員拡大活動を積極的に行います。又、地域力向上委員会に協力して、地域の活性化に繋がる事業に率先して参加致します。

結びに、青少年育成委員会は、子ども達と積極的にコミュニケーションを図り青少年健全育成の為に子ども達から目を背く事なく真正面から向き合います。又、私自身、委員会メンバーも子ども達から刺激を受け共に学び成長し合い、私自身が強い心を持って行動をする事が地域の方々の手本になると考えます。そして、委員会メンバーと共にどんな時でも明るく楽しく活動し、諦めない気概を持って、邁進して参ります。